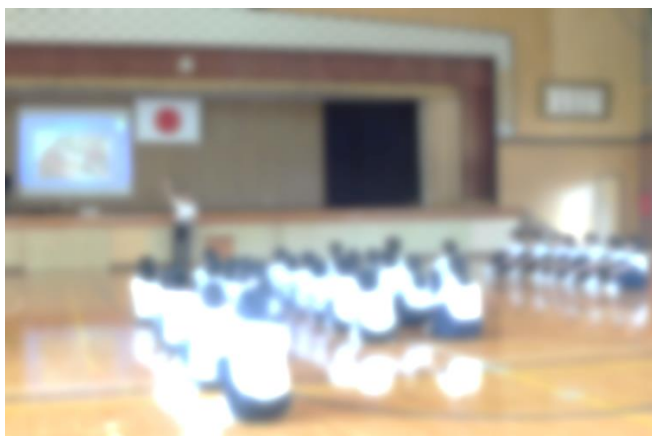


### 夢をデザインする三つの視点

校長 秋本 泰宏



月頭集会のようす

6月3日(月)に行われた月頭集会で、キャリア教育について話しました。

まず、テレビドラマから、ひとりの登場人物は若い時の旅行体験が動機となって食品会社を立ち上げ、また、もうひとりの登場人物は、自分の家庭環境から安定した職業に就きたいと考え、銀行員になったというコマを取り上げました。そして、世の中には、様々な職業があり、どの職業に就くかは人それぞれの理由があっ

てよいことを説明しました。

その上で、アメリカのキャシー・デビットソン氏の有名な『2011年度にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう』という言葉を紹介しました。そして電話交換手、人間レーダーや牛乳の訪問販売、目覚まし係、ねずみとりなど過去には実在したけれども、現在なくなってしまった職業を取り上げ、さらに人工知能（AI）の発達によりデビットソン氏の発言が加速度的に現実のものとなり、予測が困難な未来について話しました。

では、未来は予測困難で、今なりたい職業も無くなるかもしれない。だから何も考えず、準備もせずに、毎日を過ごせば良いのかと生徒に問いかけました。

そして、予測が困難な未来だからこそ、夢をデザインする3つの視点をもってほしいと生徒に語りました。その視点とは、次の3つです。

- ① 『自分がしたいこと』は何かということを考えること。そのためには、様々な体験を通じて、自分がしたいことをみつけ、将来の夢や目標につなげてほしい。
- ② 『自分ができること』を増やしていくこと。夢や目標の実現に向けて継続的に努力し、自分ができることを増やし、自分のよさをのばしてほしい。
- ③ 『社会が求めていること』は何かを考えること。社会の一員として自覚を深めて、自分の役割を果たそうとする意欲や能力を高めていってほしい。

話の中で、将来の職業について方向性が決まっているか生徒に尋ねたところ、1/3の生徒が決まっていると手を挙げてくれました。ご家庭でも職業に限らず、生徒の夢について話題にしてほしいと思います。

## ご参観ありがとうございました-学校公開週間-

6/3(月)~7(金)は、学校公開週間を行い、27名の保護者と26名の地域の方にご参観いただきました。

過去の私の経験から感じていることですが、子どもたちは保護者や地域の方に見ていただくことによって大きく成長します。ぜひ次回の学校公開週間にも多くの方がご参観いただきますようよろしくお願いいたします。

また、アンケートでいただいたご感想やご意見につきましては、教職員や生徒で共有してよりよい学校づくりをめざしたいと思います。ありがとうございました。



2年生広島見学の発表のようす

## 夏の準備 みんなでプール清掃

6月4日(火)に全校でプール清掃を行いました。

あいにくの曇り空で小雨も時折降る中、使用していなかった間の汚れを、各学年が分担して、1時間以上真剣に清掃に取り組みました。きれいになったプールでまもなく水泳の授業が始まります。夏がもうそこまで来ています。



3年生はプールの底の掃除



2年生は、プール壁面の掃除



1年生はプールサイドの草抜き

## 剣道部、バスケット部県選手権へ

6月8日(土)に灘中学校、玖珂中学校を会場に7月下旬に開かれる県選手権大会の予選が行われました。また、吹奏楽部は、シンフォニア岩国において、第62回山口県吹奏楽演奏会(岩国地区大会)が開かれました。

下の写真のように、前日あるいは、前々日となる6月7日(金)は、大会に向けて各部とも熱のこもった練習ぶりでした。

保護者の方など多くの応援もあり、剣道部男子団体、女子バスケットボール部が、県選手権の出場権を獲得しました。



高校生も参加しての練習



実戦さながらの練習



本番のように立って演奏

